

今号の主な内容▶2面：旧指定収集袋に貼付する差額券の販売場所：ひとり親家庭への食料品等提供の対象者を拡大／4・5面：特集 市の職員の給与・人事の状況を公開



第12回石田波郷俳句大会

俳句のまち清瀬

毎年開催している「石田波郷俳句大会」は、清瀬にかかわりが深く、現代の俳句文学に偉大な功績を残した俳人石田波郷をたたえ、名前を冠にいただいた大会です。清瀬から俳句文化の発信を目指し、清瀬市石田波郷俳句大会実行委員会主催で行われ、(社)俳人協会、現代俳句協会、角川文化振興財団の後援を得て清瀬のまちおこしの事業として全国規模で展開され、今年で第12回目を迎えます。

今年も一般の部、ジュニアの部、新人賞の部、合わせて1万句を超える応募があり、市の内外から高く評価されました。なお、表彰式は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止となりました。☎生涯学習スポーツ課生涯学習係☎042-495-7001

石田波郷

石田波郷は、清瀬のサナトリウムで療養した作家のなかでも、清瀬市民に縁の深い俳人です。清瀬の病床で詠まれた句集「惜命」、随想集「清瀬村」や清瀬中学校の校歌の作詞でも知られています。

受賞作品

■石田波郷俳句大会ジュニアの部

▶小学生の部

- 【大賞】おしゃべりをとめたあさがおのむらさき(八小6年・葛西すみれ)
- 【市長賞】なつのばばえあこんこうじでいそがしい(清小1年・高橋慶次)
- 【教育長賞】夏休みすぷりでできたまめ二つ(三小2年・野村湧人)

▶中学生の部

- 【大賞】冬の道君のとなりは温かい(三中2年・宮澤乃愛)
- 【市長賞】先生も消毒作業汗たれる(二中2年・小石川華菜)
- 【教育長賞】高祖父の日記みつかる流れ星(ドイツ・ギムナジウム5年・チャケレオン)

■石田波郷俳句大会一般の部

- 【大賞】故郷へ届くはずなき草矢打つ(京都府・加藤草児)
- 【市長賞】七夕やいつかひとりになるふたり(清瀬市・谷村陽子)
- 【角川『俳句』賞】新緑へ一斉に向くトウシューズ(埼玉県・幸田雪枝)

■石田波郷俳句大会新人賞

- 【新人賞】筏井遙「うしろから」
- 【選評】飄々とした詠いぶりに好感を持つ。ただ事的象をただ事的に詠いながら俳句として成立させる作者の力量と胆力に感銘(齋藤朝比古)。
- 【準賞】若林哲哉「まなうら」
- 【選評】時間的・空間的な視野を保ちつつもギュッと焦点を絞り切る、風景把握が独特だ(神野紗希)。
- 【大山雅由記念奨励賞】林光輝「降り出し」

り出し]

- 【選評】興味の持ち方、景の切り取り方など、生来の筋の良さを評価したい(村上鞆彦)。
- 【大山雅由記念奨励賞】中川収三「人も花も」
- 【選評】「肉こねて厚き掌朧月のように五感を駆使して対象を捉える姿勢や、「鯉に鯉重なる二百十日かな」のボリュームある取り合わせを高く評価したい(佐藤郁良)。

※詳しくは、第12回作品集をご覧ください。生涯学習センターにて1冊500円で販売しています。

祝 清瀬市名誉市民で彫刻家の澄川喜一氏が文化勲章を受章



澄川喜一氏
(写真：内海敏晴)

11月3日、皇居にて文化勲章の親授式が開かれ、清瀬市名誉市民で彫刻家の澄川喜一氏に贈られました。澄川氏は、東京藝術大学の学長などを歴任。抽象彫刻のパイオニアとして知られ、数々の彫刻作品を展開する一方、東京スカイツリー®のデザイン監修など、公共空間の造形分野でも幅広くご活躍されています。また、平成24年には、清瀬市の文化向上にも大きく寄与されたことから、清瀬市名誉市民として選定されました。この度の受章、誠にありがとうございます。☎秘書広報課広報聴係☎042-497-1808

市内で見られる澄川氏の作品



「平和の塔」
中央公園



「そりのあるかたち'90」
キヨセ ケヤキロード
ギャラリー



「清瀬の流れ」
清瀬けやきホール



「日月」
清瀬けやきホール